

概要	4
BY MODEL	5
設定を自動プッシュ	5
設定を手動プッシュ	5
Templateを追加	6
Parameterを指定	8
アップデートをプッシュ	9
Templateを編集	10
設定Templateをダウンロード	10
Templateを削除	11
BY GROUP	12
Groupを追加	12
Parameterを指定	14
アップデートをプッシュ	15
Groupを編集	16
設定ファイルをダウンロード	16
Groupを削除	16

Grandstream Networks, Inc.

GDMS Configuration Template Management

ユーザーガイド



表目次

表1: Templateを追加	7
表2: Groupを追加	13



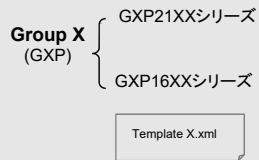
図目次

図1: 設定を手動ブッシュ	5
図2: 例 – GXV3370/DP720	6
図3: Templateを追加	7
図4: Parameterを指定	8
図5: 設定ファイルをブッシュ	9
図6: Configアップデートをスケジュール	10
図7: モデルTemplateを編集	10
図8: 設定Templateをダウンロード	11
図9: Templateを削除	11
図10: By Group	12
図11: Groupを追加	13
図12: Groupの追加を確定	14
図13: アップデートをブッシュ	15
図14: Groupを編集	16
図15: 設定ファイルをダウンロード	16

概要

Templateのページでは、ユーザーはTemplateを作成することにより、デバイスのプロビジョニングを可能にします。対象は同一モデルまたは同一グループになります。

By Model/By Group機能:

	By Model	By Group
概要	<p>1. ユーザーは、個々のSite毎に単一モデル用に複数のTemplateを指定可能</p>  <p>2. GDSMアカウント内の全Siteを対象とする場合は各モデルに1つのTemplateのみ可能</p> 	<p>ユーザーは、同一シリーズ内のデバイスの異なるモデルを同一グループに分類し、そのグループ用に1つのTemplateを作成可能</p> 
設定のブッシュ方法	<p>Model Y</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自動ブッシュ: デバイスがGDMSのプラットフォームに追加された時に、モデルのTemplateが自動的にデバイスをプロビジョニング ● 手動ブッシュ: 選択し手動でデバイスをプロビジョニング 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動ブッシュ機能は非サポート ● 手動ブッシュ: 選択し全Site内の全デバイスをプロビジョニングするか、プロビジョニング対象のデバイスを選択。ユーザーは、カレントのグループ外のデバイスへのTemplateのブッシュも可能
設定パラメータ	対象モデル内のすべての設定パラメータ(モデル固有のパラメータを含む)	現在のシリーズでサポートされている設定パラメータ(モデル固有のパラメータは除外)
Template数の制限	無制限	無制限
シナリオ	ユーザーがデバイスを設定する際は最新版の設定パラメータを使用。デバイスがオンラインになり次第、その最新の設定パラメータを取得	ユーザーは、同一シリーズのデバイスに汎用的な設定パラメータをプロビジョニング。1つのシリーズに複数のグループ用Templateを作成可能


BY MODEL

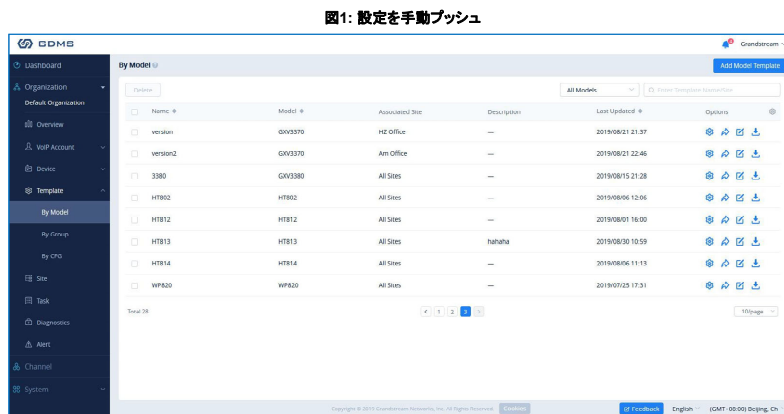
ユーザーは設定用のTemplateをカスタマイズし、そのTemplateをデバイスモデルとSiteに分類出来ます。ユーザーはGDMSプラットフォーム内のデバイス設定のバッチ処理も可能であり、このことは、ユーザーが設定Templateを作成する対象は同一モデルの全デバイスとなり、複数のTemplateを異なるSite用に作成出来る事を意味します。

設定を自動プッシュ

デバイスがGDMSに初回の追加をされると、そのデバイスが自動的に取得および使用するはそのモデル用の設定Templateになります。

設定を手動プッシュ

特定のデバイスモデルに手動で設定をプッシュする場合は、対象モデルの  ボタンをクリックします。



注:

過去にデバイス設定の変更が無く、**Device管理** → **Device List** → **Set Parameter**ページ通りの場合、GDMSが自動的にデバイスのアップデートを行う際は、**Template**ページにて作成された設定になります。

例:

GXV3370のデバイス用に全てのSiteが使用しているのは同一設定のTemplateであり、Site A-D内の全デバイスが取得するのは同一設定TemplateのGXV3370 Config Template.xmlになります。

DP720のデバイス用には、Site毎に異なる設定Templateがあります。Site AのDP720が取得するのは、

DP720用設定ファイルのConfig Template-1.xmlとなり、Site BのDP720が取得するのは、DP720用設定ファイルのConfig Template-2.xmlになります。

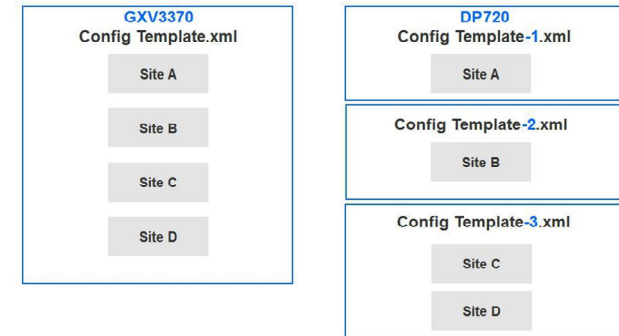


図2: 例 - GXV3370/DP720

Templateを追加

特定のデバイスモデル用の設定Templateを追加するには、**Template**管理内の**By Model**ページで右上の**Add Model Template**ボタンをクリックし、以下の情報を入力します:

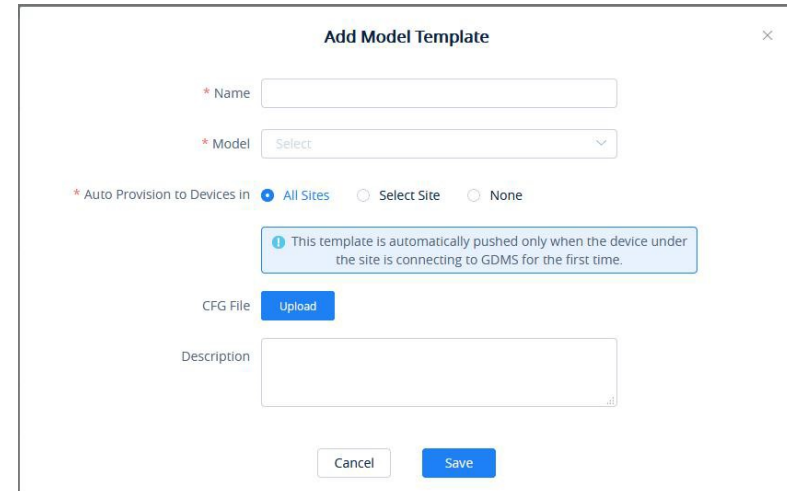


図3: Templateを追加

表1: Templateを追加

Name	Templateの名称を入力します。 この名称は一意的に必要があり、最長64文字迄の制限があります。
-------------	---

Model	Template対象となるデバイスモデルを選択します。
Auto Provision to Devices in	<p>Templateを使用するSiteを選択します。</p> <p>All Sites: 全てのSite内の全デバイスが、このTemplateを使用します。</p> <p>Select Site: 選択をされたSite内の全デバイスが、このTemplateを使用します。複数のSiteを選択可能です。</p> <p>None: GDMSプラットフォームは、このTemplateをどのデバイスにも適用しません。ユーザーは、Templateを手動でデバイスに割り当てることは可能です。</p>
Description	ユーザーは、Templateの説明および目的を入力出来ます。

入力後、ユーザーがリダイレクトをされるのは**Set Parameters**のページになり、Templateによりデバイスの設定を変更します。

注:


- 新に関連付けられたデバイスでは、そのデバイスが初めてGDMSプラットフォームと連携をする際の設定Templateの取得は、デバイスのモデルとSiteにより自動的に行われます。ユーザーは、設定Templateを手動でプッシュする必要はありません。
- GDMS内の既存のデバイスは、新たに追加をされた設定Templateから自動的に設定を取得しません。ユーザーは、これらのデバイスを手動でアップデートする必要があります。

重要事項:

GDMSプラットフォームに現行デバイス用のモデル設定Templateがあり且つユーザーが**Device管理** → **Device List** → **Set Parameter**の設定パラメータを変更していない場合、GDMSプラットフォームはデバイスのオンライン化時にデフォルトのモデル設定Templateをデバイスにプッシュします。その他には、ユーザーがGDMSプラットフォームの“Set Parameters”メニューのデバイス設定をアップデートしデバイスにプッシュする際には、デバイスはこの設定をデフォルト設定として使用します。

Parameterを指定

ユーザーはモデルのTemplateを編集することにより、モデル固有のパラメータを設定出来ます。

1. モデル固有のパラメータの設定は、対象Templateの  をクリックします。

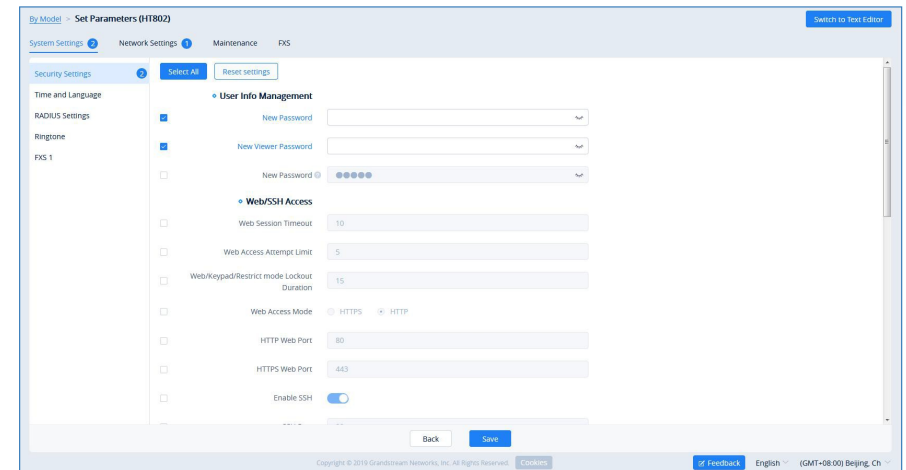


図4: Parametersを指定

- a. **Select All**ボタンのクリックは、カレントのページ上の全てのオプションが選択されます。再度のクリックにより、全オプションが非選択になります。
 - b. **Reset Setting**ボタンのクリックは、カレントのページ上で全ての設定をデフォルト値に復元します。
2. ページ上で対象とする設定を指定するか、または右上の**Switch to Text Editor**ボタンをクリックしデバイスの設定を行う場合は、テキスト編集(P値)になります。キーは、P値またはエイリアスが可能です。

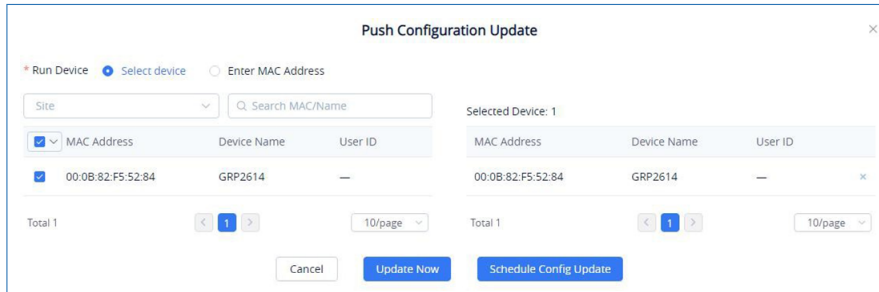
注:

- モデルTemplate毎に利用可能な設定は異なります。条件に合致する設定値の詳細は、各デバイスモデルのユーザーガイドを参照してください。
- ユーザーがGDMSプラットフォームに新たなモデル設定Templateを追加される場合は、GDMSプラットフォームはGDMSプラットフォーム内の既存のデバイスにはそのTemplateのプッシュを行いません。GDMSプラットフォームが新たに追加をされたTemplateを自動的にプッシュするのは、システム内に新規に関連付けられたデバイスが対象になります。
- Templateの設定を変更の際、その変更は関連するデバイスに自動的に適用されません。ユーザーは、手動でデバイスに設定をプッシュする必要があります。
- 新規に追加をされたデバイスでは、それらのデバイスはアップデートをされた設定Templateを自動的に取得します。
- 予定のタスクに変更をされたTemplateが含まれている場合は、その予定時刻のタスクではそのTemplateの設定を使用します。(新たに変更をされた設定は使用されません)

アップデートをプッシュ

ユーザーによる設定Templateのデバイスへのプッシュは手動でも行えます。

対象とする設定Templateの  ボタンをクリックします。



Push Configuration Update

* Run Device ☒ Select device ☐ Enter MAC Address

Site: Search MAC/Name:

MAC Address	Device Name	User ID
<input checked="" type="checkbox"/> 00:0B:82:F5:52:84	GRP2614	—

Total 1

Selected Device: 1

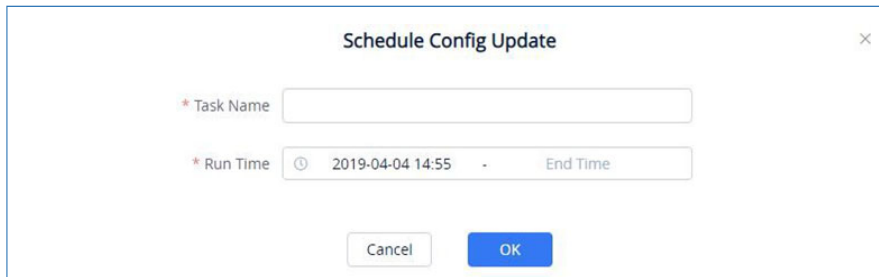
MAC Address	Device Name	User ID
00:0B:82:F5:52:84	GRP2614	—

Total 1

Buttons: Cancel, Update Now, Schedule Config Update

図5: 設定ファイルをプッシュ

1. ユーザーは、対象のデバイスモデル内の任意のデバイスを選択して設定Templateをプッシュ出来、その設定Templateによりデバイスはアップデートをされます。
2. ユーザーは、設定Templateのプッシュを直ちに行うか、またはスケジュールにより設定のプッシュを指定時刻に行うことも可能です。後者を選択の場合、ユーザーが入力を行う必要があるのはスケジュールによるプッシュの名称と日時です。



Schedule Config Update

* Task Name:


* Run Time: 2019-04-04 14:55 - End Time:

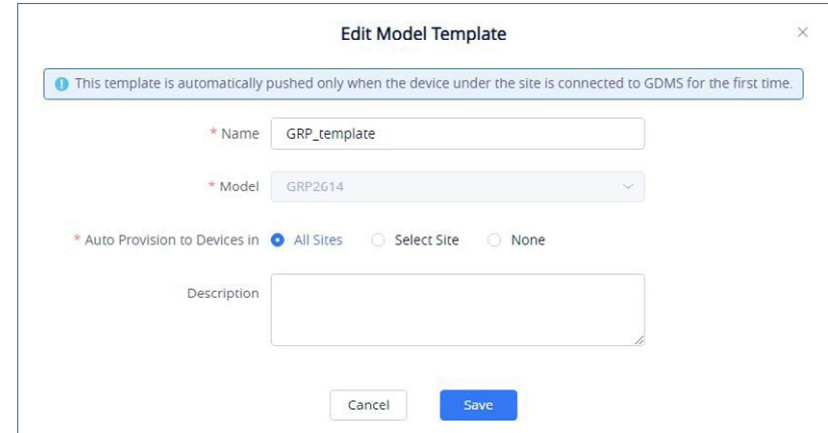
Buttons: Cancel, OK

図6: Configアップデートをスケジュール

3. **Save**ボタンをクリックし、タスクを確定します。ユーザーが確認可能なタスクステータスは、**Task**管理ページになります。

Templateを編集

設定Templateの名称とSiteおよび説明を編集するには、対象とするTemplateの  ボタンをクリックします。



Edit Model Template

This template is automatically pushed only when the device under the site is connected to GDMS for the first time.

* Name: GRP_template

* Model: GRP2614


* Auto Provision to Devices in: ☒ All Sites ☐ Select Site ☐ None

Description:

Buttons: Cancel, Save

図7: モデルTemplateを編集

設定Templateをダウンロード

デバイスモデルの設定Templateをダウンロードするには、対象とするTemplateの  ボタンをクリックします。



DP All DP750 All Sites test 2019/01/09 07:47

Buttons: Settings, Copy, Print, Download

図8: 設定Templateをダウンロード

Templateを削除

GDMSから設定Templateを削除するには、**By Model**ページ内の対象とするTemplateを選択後、左上の**Delete**ボタンをクリックします。

注:

削除をされたTemplateにスケジュールタスクが含まれている場合、そのタスクが使用するのは一時的な複製によるTemplateとしてスケジュール時刻用に保存をされています。予定をされたタスクは、削除をされたテンプレートの影響を受けません。

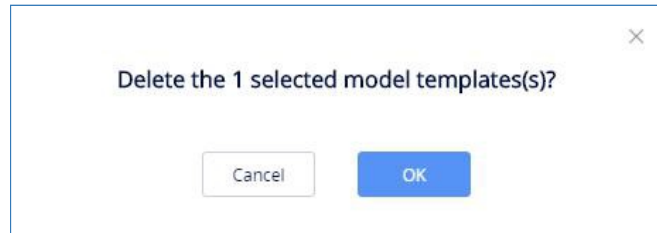


図9: Templateを削除

BY GROUP

ユーザーは、設定Templateのカスタマイズをグループ毎にも行えます。ユーザーはグループを構成出来、グループの設定Templateをアップデートします。例えば、ユーザーがデバイスのバッチをグループに分類し、設定/管理を行うデバイスはグループ内にあります。ユーザーが設定Templateをプッシュする際は、GDMSプラットフォーム内のグループメンバーに対して行います。

ユーザーによる閲覧対象のグループの設定Templateとデバイスのリストは各グループ内になります。

ユーザーが設定パラメータを変更しデバイスに設定をプッシュをする際には、グループおよびメンバーを編集し、設定Templateのダウンロードもグループ毎になります。

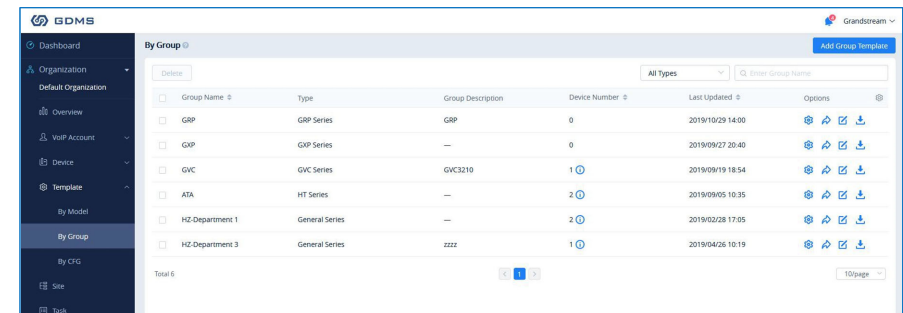


図10: By Group

Groupを追加

ユーザーは、GDMSプラットフォーム上にいつでもグループを追加出来ます。

1. By Groupページの右上のAdd Group Templateボタンをクリックします。

図11: Groupを追加

表2: Groupを追加

Group Name	グループの名称を入力し、識別を容易にします。この名称は一意の必要があり、最長64文字迄の制限があります。
Type	<p>ユーザーが必要な選択を行う際、例えばDPシリーズとDPシリーズ以外のタイプがあります:</p> <ul style="list-style-type: none"> DPシリーズ: 使用する設定Templateは、DPシリーズ用になります。 DPシリーズ以外: 使用する設定Templateは、GXVシリーズ、GRPシリーズ、GXPシリーズおよびWPシリーズ他があり、設定Templateに含まれる全てのパラメータが各モデル固有になります。
Description	この設定Templateの詳細説明および用途を入力します。

2. 入力後、ユーザーがリダイレクトをされるのはデバイスの選択ページになり、デバイスをグループに追加します。ユーザーはデバイスをリストから選択するか、またはデバイスのMACアドレスを手動で入力も可能です。選択されたデバイスは、ページの右側のSelected Deviceのリストへ移動されます。

図12: Groupの追加を確認


3. ユーザーは“Prev”ボタンをクリックしてグループ設定ページに戻り、グループ情報の再編集も可能です。
4. **Save**ボタンをクリックし、グループメンバーの選択を確定します。その後ユーザーがリダイレクトをされるのは、**Set Parameters**のページになります。

注:

新たに追加をされたグループには、ユーザーは設定Templateのパラメータを指定する必要があります。

Parametersを指定

ユーザーがデバイス固有のパラメータを指定する場合は、グループ内の設定Templateにより行い、その目的は固有パラメータのグループ内のデバイスへのプッシュです。

- 特定のグループの選択から  ボタンをクリックし、グループメンバーのパラメータの設定ページにアクセスします。
- ページ上で対象とする設定を指定するか、または右上のSwitch to Text Editorボタンをクリックしデバイスの設定を行う場合は、テキスト編集(P値)になります。キーは、P値またはエイリアスが可能です。

注:

- モデルTemplate毎に利用可能な設定は異なります。条件に合致する設定値の詳細は、各デバイスモデルのユーザーガイドを参照してください。
- ユーザーがGDMSプラットフォームに新規のモデル設定Templateを追加される場合は、

GDMSプラットフォームはGDMSプラットフォーム内の既存のデバイスにそのTemplateのプッシュを行います。GDMSプラットフォームが新たに追加されたTemplateを自動的にプッシュするのは、システム内に新たに関連付けられたデバイスが対象になります。

- Templateの設定を変更の際、その変更は関連するデバイスに自動的に適用されません。ユーザーは、手動でデバイスに設定をプッシュする必要があります。
- 新規に追加されたデバイスでは、それらのデバイスはアップデートをされた設定Templateを自動的に取得します。
- 予定のタスクに変更をされたTemplateが含まれている場合は、その予定時刻のタスクではそのTemplateの設定を使用します。(新たに変更をされた設定は使用されません)

アップデートをプッシュ

ユーザーによるグループ設定Templateのデバイスへのプッシュは手動でも行えます。

1. 対象とするグループの  ボタンをクリックします。

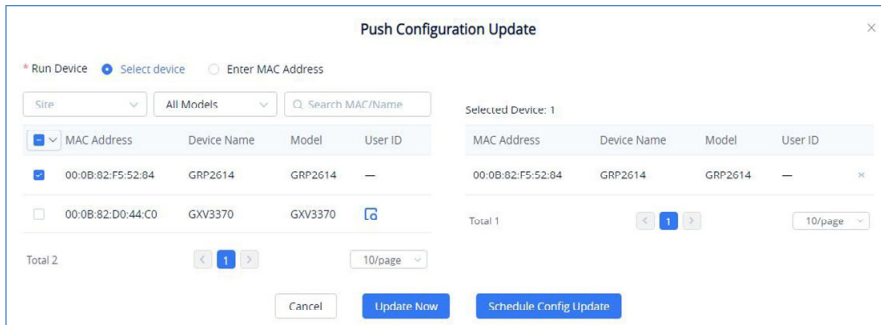


図13: アップデートをプッシュ

2. 設定Templateのプッシュ対象は全体または選択によるグループメンバーの指定に加え、ユーザーはメンバー外へのプッシュも可能です。
3. ユーザーは、設定Templateのプッシュを直ちに行うか、またはスケジュールにより設定のプッシュを指定時刻に行うことも可能です。後者を選択の場合、ユーザーが入力を行う必要があるのはスケジュールによるプッシュの名称と日時です。
4. **Save**ボタンをクリックし、タスクを確定します。ユーザーが確認可能なタスクステータスは、Task管理のページになります。

Groupを編集

ユーザーは、グループ名称と説明およびグループメンバーを編集可能です。

1. 対象とするグループの  ボタンをクリックします。



図14: Groupを編集

2. 対象の内容を変更後、**Save**ボタンをクリックし編集を確定します。

注:

既存のグループ内の新規メンバーは、グループ設定Templateを自動的に取得しません。新規のメンバーにはTemplateを手動でプッシュする必要があります。

設定ファイルをダウンロード


ユーザーがグループの設定Templateをダウンロードする場合は、対象とするグループの  ボタンをクリックします。



図15: 設定ファイルをダウンロード

Groupを削除

ユーザーはグループを削除出来ます。By Groupページで対象のグループを選択し、左上のDeleteボタンをクリックします。

注:

タイミングにより既存のタスクがグループ設定Templateにより予定をされている場合は、そのタスクの実行はオリジナルのグループ設定Templateになります。